

風しんの追加的対策の実施状況について（成人男性への風しん抗体検査・予防接種）

これまでの国による風しん対策について

- ・現在、予防接種法により、幼児期（1歳）及び学童期（幼稚園年長相当時）の2回の定期予防接種を実施。
- ・妊娠を希望する女性等を中心に、都道府県の補助により風しんの抗体検査を実施。

追加的対策を開始するに至った経緯

- ・平成30年（2018年）の関東地方での風しん感染の結果、罹患者の多くが30代から50代の男性であった。
- ・当該世代（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）の男性は、過去に1度も定期接種の機会がなかった。
 ※当該世代の男性でも、風しんへの自然り患により、8割程度の国民が抗体を保有していると言われる。（他の世代は9割以上が保有）

⇒以上の事から、当該世代の男性に対し、無料による風しんの抗体検査の実施と、抗体価が低かった場合の無料による定期予防接種を平成31年度から3か年の時限措置として実施することとなった。
 【平成31年2月1日 予防接種法改正】

風しんの追加的対策のスキーム

- ・対象男性のうち、年齢の若い昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの7年齢帯を初年度クーポン発行対象とし、各市町村からクーポン券を発送。
- ・残る昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性に対しては、次年度以降にクーポン券を発送することとし、希望に応じて平成31年度（令和元年度）に随時発行を可とした。
- ・対象者は働き盛りの世代であり、抗体検査や予防接種の時間を割くことが難しく、住所地と勤務地が違うことなどが想定されることから、全国知事会と日本医師会等との集合契約により、住民票の所在自治体以外でも検査・接種を可能とした。
- ・地域の医療機関での検査の他、人間ドックや特定健診等の機会に検査を実施することも可能。

江別市での実施状況

- ・江別医師会等の協力により、市内36医療機関で追加的対策を実施。（抗体検査35機関、予防接種34機関）
- ・平成31年4月末に初年度対象者へクーポン券を発送。以降、随時発行に対応中。
- ・実施医療機関に対し、厚生労働省作成のポスターを市で印刷し配架。
- ・自治会回覧での周知の他、市ホームページでの勧奨を実施中。

初年度クーポン対象者：平成31年2月28日現在市民	5,405
---------------------------	-------

初年度クーポン対象者：4月末発送数	5,343
-------------------	-------

初年度クーポン対象者：転入等による随時発行数	140
------------------------	-----

次年度以降クーポン対象者：8月末時点の希望による発送数	101
-----------------------------	-----

発行総数（R1.10現在）	5,584
----------------------	--------------

	抗体検査			予防接種			
	健診同時受診	単独受診	夜間等受診	抗体検査計	うち市外	予防接種全体	うち市外
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	23	142	2	167	12	15	0
6月	59	106	1	166	50	18	2
7月	48	73	0	121	42	14	0
8月	49	55	2	106	49	16	3
8月末計	179	376	5	560	153	63	5

抗体陰性（抗体価が低かった方）	111	19.8%
-----------------	-----	-------

抗体陽性（抗体のあった方）	449	80.2%
---------------	-----	-------